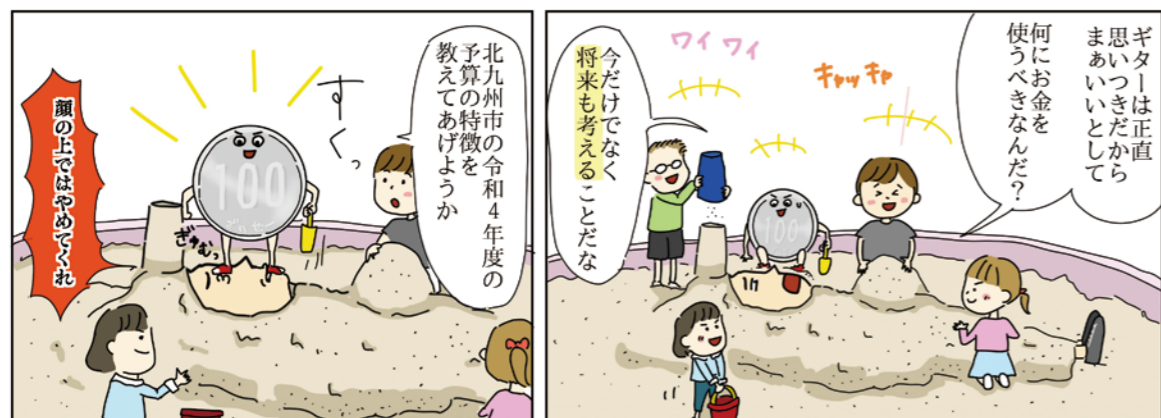


1 令和4年度予算について



③「日本一住みよいまち」の実現に向けた取組の総仕上げ

ヤングケアラー支援 KGG
不登校支援
~SDGsを原動力に 日本一住みよいまちへ~

①感染症に対し強靱で安心できるまちづくり

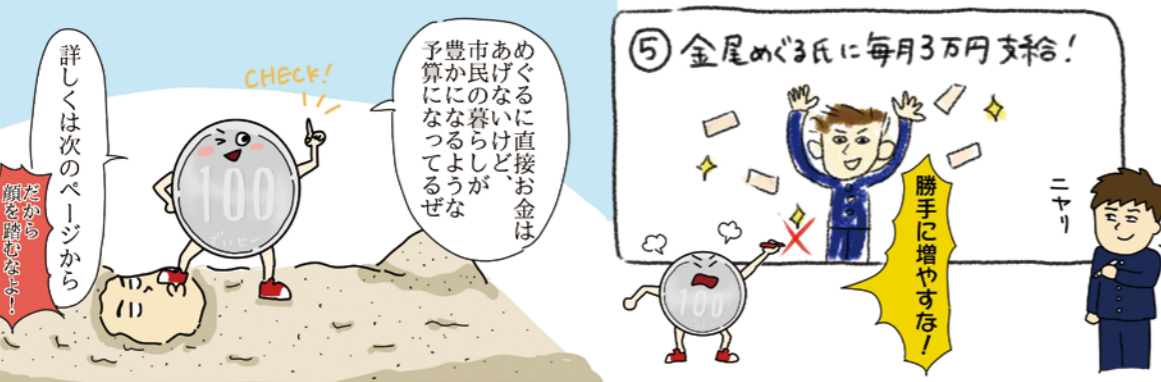
自宅療養者支援
プレミアム南の島
事業継続 伴走パッケージ

④DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進

行かなくともいい行政サービス
デジタルデバイス対策

②経済の好循環を生み出す成長戦略の実行

北九州空港 物流拠点化
洋上風力
再生エネルギー 100%

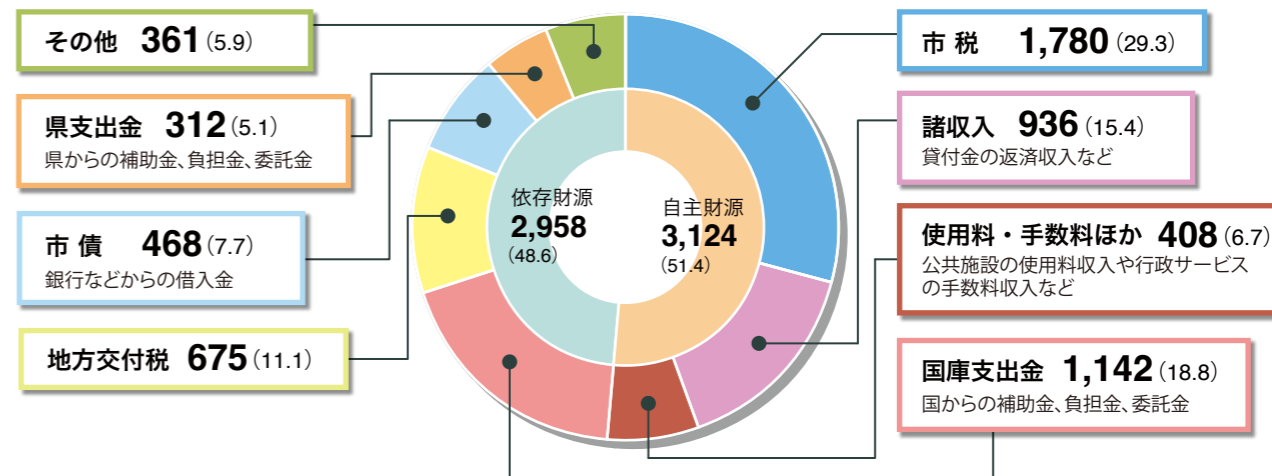


令和4年度当初予算(一般会計)の内訳

■歳入予算の内訳

歳入総額 6,082億円

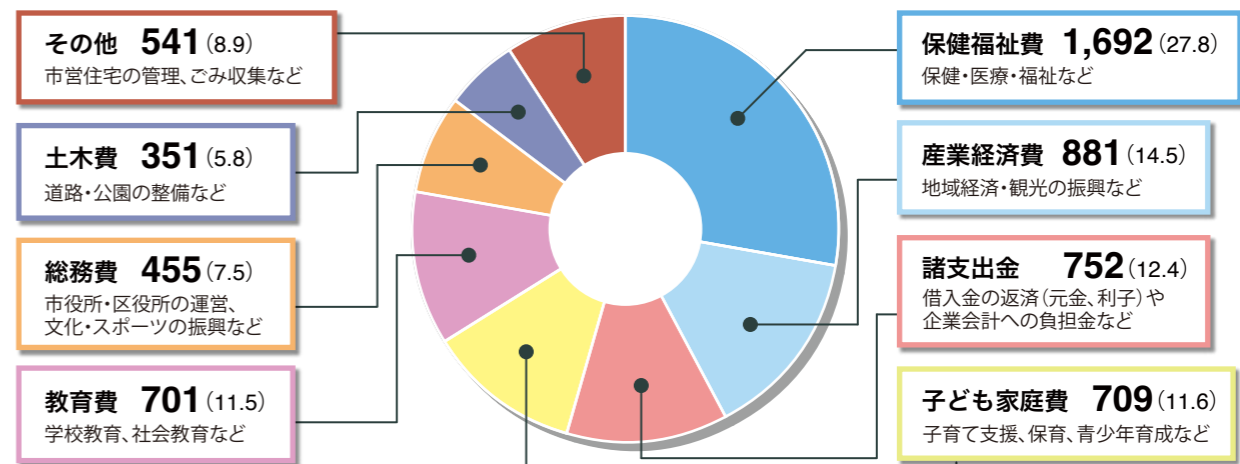
〔単位：億円〕
〔()内は構成比%〕



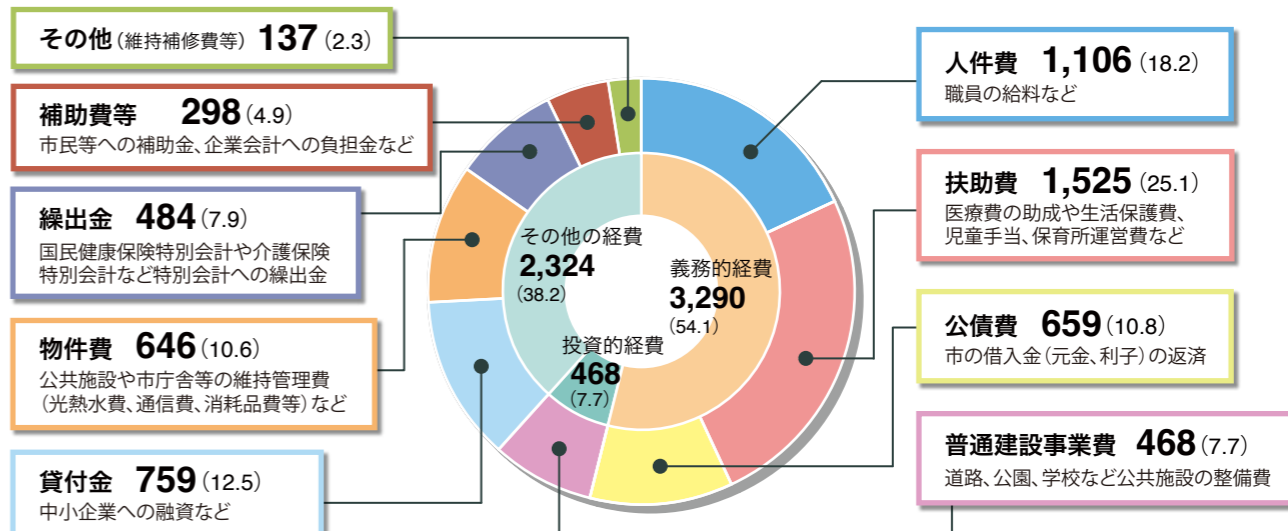
■歳出予算の内訳

歳出総額 6,082億円

【目的別】 教育費・土木費などの「行政目的」に従って分類すると次のようになります。



【性質別】 人件費、扶助費などの「性質」に従って分類すると次のようになります。



2 経済の好循環を生み出す成長戦略の実行

グリーン成長に向けた取組や、北九州空港など、本市の充実したインフラを活用した物流拠点の形成、スタートアップ企業の創出・育成などにより、感染症の厳しい経済的影響を克服し、地域経済の復活に向けて力強く前進します。

また、本市への移住促進や関係人口の創出、企業誘致、若者の地元就職支援などの取組を推進するとともに、文化・スポーツ・観光振興などの取組を強め、まちのにぎわいを創出します。

インフラを活用した物流活性化の推進

北九州空港物流拠点化推進事業

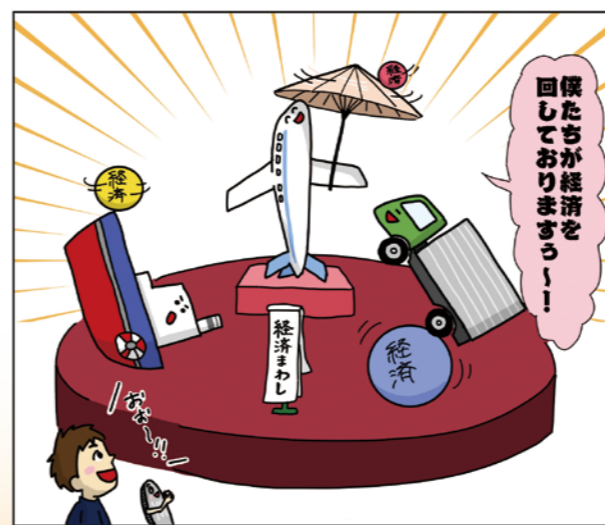
…………… 4億4,200万円

九州・西中国の物流拠点空港を目指し、滑走路延長を見据えた更なる貨物の取り込みや、航空貨物定期便の安定化等に取り組みます。

九州発貨物の集約拠点化支援事業

…………… 3,400万円

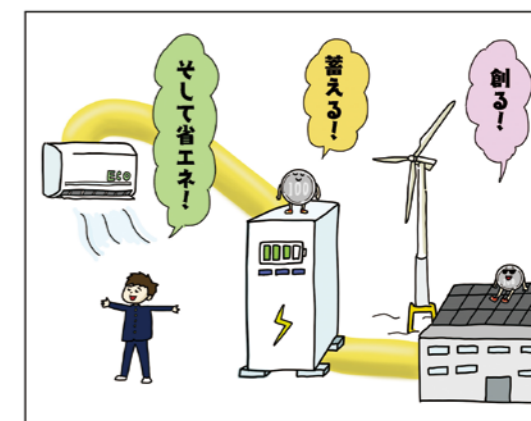
九州の発貨物を本市に集積させる取組に対する支援の第一弾として、北九州市中央卸売市場内における農産物を集約した首都圏向けフェリー輸送に対し、必要となる経費の一部を補助します。



脱炭素社会の実現に向けた“再エネ100%北九州モデル”推進事業

…………… 10億5,200万円

国の「脱炭素先行地域」の交付金を活用し、公共施設や民間施設に、創エネ、蓄エネ、省エネを導入する「再エネ100%北九州モデル」を推進します。



北九州市科学館スペースLABO管理費

…………… 5億6,800万円

令和4年春にオープンした体験・体感型の科学館「スペースLABO」について、一人ひとりが感じる「フシギ」の芽を大切に魅力ある施設の運営をとおして、賑わいを創出していきます。



※プラネタリウムでの投影中は静かにしましょう。

2 主な事業の紹介 ……………

1 感染症に対し強靱で安心できるまちづくり

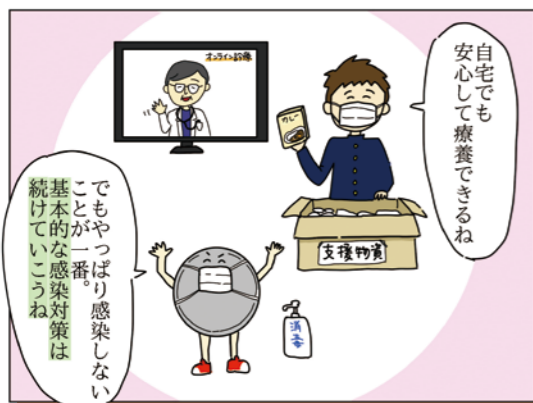
ワクチン接種の円滑な実施や検査・医療提供体制の確保など、新型コロナウイルスの感染拡大防止に引き続き取り組み、安心して暮らせるまちを目指します。

新型コロナウイルス感染症患者への自宅療養者支援事業

…………… 10億4,300万円

(令和4年度6月補正 9億7,500万円との合計額)

自宅療養者が、外出せずに療養に専念できるよう、食料品等の生活必需品を配送し支援します。また、体調が変化した方などへのオンライン診療や、往診・訪問看護等の医療提供体制を整備します。



商店街プレミアム付商品券発行支援事業

…………… 13億7,700万円

(令和3年度予備費 5億9,700万円、令和4年度6月補正 3億5,000万円との合計額)

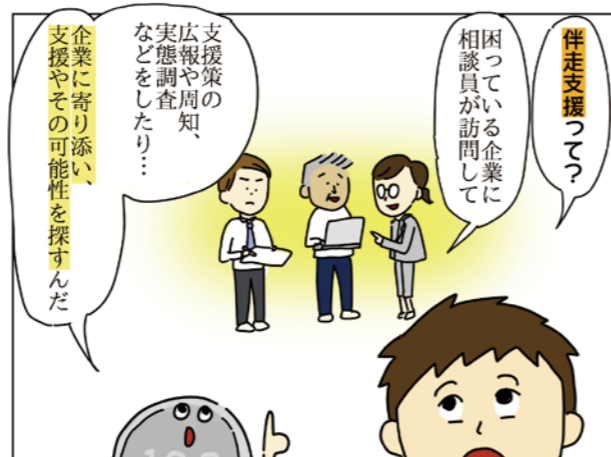
福岡県の助成制度を活用して商店街等が自主的に取り組むプレミアム付商品券の発行を支援することにより、地域の消費を喚起し地域商業の活性化を目指します。



雇用維持・事業継続に向けた伴走支援パッケージ

…………… 1億200万円

コロナ禍で厳しい経営環境にある市内中小事業者を支援するため、年間を通じた訪問相談、経済支援策の広報、実態調査、助成金の申請や事業承継の支援等、総合的な伴走支援を実施します。



4 DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進

「北九州市DX推進計画」に基づき、デジタル技術を徹底活用してDXを推進します。まずは、市民サービスや市役所業務の抜本的な見直しについて、手続きのオンライン化をはじめとする「市民サービスの向上」やデジタルツールの活用等による「業務の効率化」、テレワークの推進等による「職員の働き方改革」などに集中的に取り組むとともに、地域全体のDXにつなげていきます。

デジタル・デバインド対策事業

..... 800万円

デジタル機器に不慣れな高齢者などを対象に体験型セミナーなどを開催します。

※デジタル・デバインドとは？

コンピューターやインターネットなどの情報技術を利用できる人とそうでない人の間に生じる格差。



自宅で簡単に完結する「行かなくていい」行政サービスの提供

手続きオンライン化推進事業

..... 600万円 など

市民が区役所等に「行かなくていい」ことを目指し、自宅や、より身近な場所で手続きが完結できるよう、手続きのオンライン化などを進めていきます。



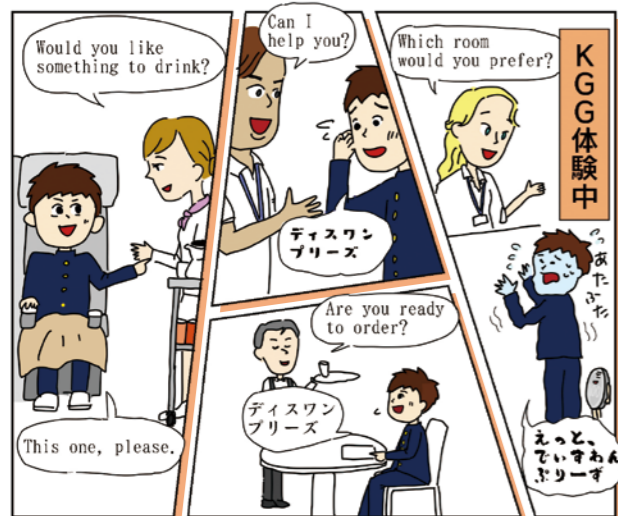
3 「日本一住みよいまち」の実現に向けた取組の総仕上げ

SDGsを原動力に地方創生の成功モデル都市を目指すとともに、環境や健康、子育て・教育、安全・安心など、コロナ禍を通じてあらゆる分野で生じた人々の価値の変化を的確に捉え、ポストコロナの新しい生活様式に対応した「日本一住みよいまち」の実現に向けた取組を進めます。

KITAKYUSHU GLOBAL GATEWAY 体験支援事業

..... 2億2,000万円

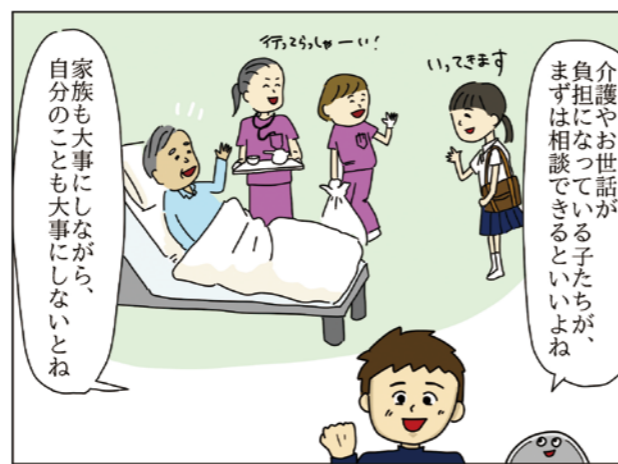
英語学習意欲の向上のきっかけとするため、市内の小・中・特別支援学校等の児童生徒が、体験型英語教育施設「KITAKYUSHU GLOBAL GATEWAY」を体験できるよう支援します。



ヤングケアラー相談支援事業

..... 1,000万円

大人が担うような家族の介護や、きょうだいの世話などを行っているヤングケアラーを早期に発見するため、相談窓口を設置し、適切な支援につなげるとともに、心のケアや関係機関との連携による支援を実施します。



不登校等支援センター設置事業

..... 1,200万円

不登校児童生徒の社会的自立に向けて、子ども・保護者等に寄り添った支援や関係機関との連携強化を図るため、「不登校等支援センター」を新たに設置します。

